

## 1 中期学校経営方針

### (1) 学校経営中期取組目標

#### 学校経営中期取組目標

○1小1中という恵まれた環境を生かして、小中連携を充実させ、併設型小中学校として、学習・生活の両面で9年間一貫した教育活動を行います。

- ・特別支援の考え方をもとに、授業のユニバーサルデザイン化を図ります。
- ・人とのかかわりの中で居場所や役割を実感させ、自尊感情や社会性を育成します。
- ・地域と連携・協働しながら、社会で求められる資質・能力を子どもたちに育みます。

### (2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野		具体的取組
豊かな心		①「一人ひとりの居場所づくり、自己有用感や自尊感情の育成」の基本理念を徹底するため、定期的に「児童生徒指導のスタンダード」を確認し、指導の改善を図る。②道徳科と他教科をより関連付けた年間計画を立て、各教科での実施状況を確認することで、教育活動の質の向上を図る。
担当	学習指導部 生徒指導部	

## 2 児童（生徒）の実態（「豊かな心の育成」にかかわる課題）

穏やかに生活できている生徒が多い。人とのコミュニケーションをとることが好きではない生徒の割合がやや多い。一小一中のため人間関係がほとんど変化せず、うまくいかなくなったときの関わり方での課題が見られる。また、学習状況調査などでは、自己有用感の低さも見られている。

## 3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

### 指針1 「道徳の時間」の充実（必須項目） ※道徳教育全体計画・別葉と連動

「他者理解」という視点から、一年生の「遠足」、二年生の「校外学習」、三年生の「修学旅行」といった校外活動や、職場体験活動、生徒会行事、体育祭・文化発表会・合唱コンクールなどの様々な体験を、道徳の時間に深化させていく活動を重視し、「豊かな心の育成」に努めたい。また、道徳教育の意義を教職員がしっかりと理解し道徳教育の充実を図りたい。

### 指針2 一人ひとりの居場所づくり、自己有用感や自尊感情の育成

集団活動や異学年交流、小中合同地域防災訓練や地域清掃などの地域や保護者が参加・参画する教育活動を推進し、児童生徒が人とのかかわりの中で居場所を実感したり、自分の役割を果たしたりすることで自己有用感を高め、自尊感情を育成することで、「豊かな心の育成」に努めたい。